

2021年度学生モニター会議（2021年12月9日開催）					
項目	学生の要望等	回答者	当日の回答	その後の対応等	
カリ キュ ラム ・ 履 修 に つ い て	1	●共通教育科目の選択科目によって評定の偏り（平均的な成績の学生が可に設定される講義と優、あるいは秀に設定される科目）が存在し学びたい科目を履修するとGPAに差し障るという理由で履修を取りやめる学生がいる現状がある。学生の取り組み次第であることは確かだが、学びたい科目を研究室選択のために学べない環境は良くないのではないだろうか。評価基準のある程度の一律化をお願いしたい。【小サブ】	教育コ	共通教育の科目については、教育学部で管理していない。教育学部の科目については、教育コーディネーターが、学期ごとに評価の分布を把握している。	今年度から、成績評価分布について会議内で共有・検討することにいたしました。その際に今回頂いた学生からの意見についても、お伝えさせていただきます。（共通教育チーム）
	2	●大学が複数の免許取得を推奨しているにも関わらず、教科の必修科目で「この教科の教員を本気で目指す学生が対象」「大抵の人はこの授業を取らなくても卒業できるので練習に時間をかけられないならやめてもらってもいい」などというシラプスの説明・発言が複数の講義であり不快な思いをした。生半可な気持ちで取り組むなどというのは分かるが、今一度免許取得に関する方針や評価のあり方を教員内で統一してほしい。【中等】	学部長	技能を身につけなければならない科目については、その技能を身につけた上で現場に出てほしいという強い思いが教員側にあったと推察する。しかしながら、免許の取得自体を否定する発言は容認できない。先週の教授会において、この点について周知した。来週の教授会でも再度教員側に伝えたい。	学部長より教授会で教員に当該項目に関して連絡があった。
	3	●教育学部でも養護教諭の免許が取れるようにしてほしい。医学部看護学科の学生は、教職に関する授業を履修すれば養護教諭の免許も取れるそうだが、なぜ教育学部の学生は養護教諭の免許が取れないのか。【中等】	学部長	中国・四国国立大学の教育学部において、養護教諭の免許を出しているのは岡山大学と熊本大学のみであり、それ以外は医学部である。養護教諭の免許を出すためには、課程認定を通らなければならない。教育学部の教員も少なくなっており、こうした現状では非常に難しい。	
	4	●年度当初の履修登録の仕方がよくわからず、どこに相談したらよいかもわからない状態だった。【院】	教務	大学院履修登録の仕方について、まず指導教員に相談することをお勧めする。また、修学支援システムについては、教育学部チームに具体的な質問をもって相談すると良い。実際には、同じコースの1年上の先輩に話を聞くと回答が得られる場合も多い。	
	5	●卒業できるか通知があると嬉しい。【幼サブ】	教務	卒業については、学生の責任で確認すべきこと。学生の自律を尊重するようにしたい。卒業要件に関する具体的な質問等がある場合は、学担教員や教育学部チームに相談してください。	
	6	●どのくらいの状態になれば完全対面授業になるのですか。（第4クオーターから対面授業に切り替わっておりますので、当日のテーマになくても構いませんが、せっかく意見を出してもらったので記載させていただきます。）【小サブ】	学部長	完全対面授業については、大学の方針のため、教育学部だけでは判断できない事案である。	
	7	●対面授業の増加にあたり今後の道筋や指針を聴きたい。また収容人数の関係を理由とすることが多いが広い部屋を用意することはできないか。【小サブ】	学部長 総務	第4Qは対面授業が前提となっている。先生の事情により同期型になっている授業もある。また、共通教育棟が工事中であったため、非同期型の授業が多くなっている事情もある。来年度は改善される見込み。できる限り非同期型で行っていただけるよう教員に周知していく。	基本的に第4Qは対面授業となっている。
	8	●自習の形の講義が多く大学に通っている実感を持ちづらい（昨年からの変更はあったか）【小サブ】	学部長	しっかり対応していただけるよう教員に周知する。	
	9	●遠隔と対面を混合するときは、遠隔はすべて非同期にしてほしい。【中等】	学部長	遠隔は非同期ということで教員に依頼しているが、事情により同期型になっている。今後、できる限り非同期型で授業を行ってもらうよう教員に依頼する。	

講義・授業について	10	●コロナに対してまだ不安な学生もいるため授業を遠隔か対面か自由に選びやすくしてほしい。【中等】	教務	全学での決定事項として、特別な事情があり第4Qに遠隔授業を希望する場合は申請することができるようになっている。申請の条件にはあてはまらないが不安がある場合は、まずは学担に相談してください。	
	11	●対面授業か非対面授業か早めに連絡があると嬉しい。【幼サブ】	教務	対面型授業か非対面型授業かの連絡については、教員間で共有していく。	
	12	●遠隔授業の場合、Moodleでの資料アップや授業リンクの伝達等、伝達が遅いと感じるためできる限り早めに連絡してほしい。【小サブ】	教務	連絡の伝達について、迅速に対応していただくよう教員に周知する。	
	13	●遠隔同期型の授業と対面授業が連続している場合、20分間で自宅と大学間を移動しなければならず困る。(遠隔の場合、原則、非同期と大学が言っている、実際は遠隔同期型の授業が多い。)【小サブ】	総務 教務	共通教育は非同期型になっている。教育学部については、遠隔同期と対面授業が近接している場合、学部内で待機する場所を確保している。対面が原則になった現在、遠隔同期と対面が連続した場合は、何とか対応したいと考えている。現在、どうなっているかが掲示されていなかった。今後は、現在どうなっているかが分かるように掲示をしていきたい。 学部では、今年度当初、教員側に以下の対応を行うようお伝えしている。 1 学期の最初に、遠隔同期型授業と対面授業が連続することによる問題が生じている受講生がいないか、確認すること 2 移動により、授業の最初と最後に出られない場合については配慮すること 3 移動の問題がある場合、できれば授業を録画しておき、オンデマンドで視聴できるようにする 4 学内で対面同期の授業を受けられる場所を確保する。 対面授業の前後の遠隔同期型授業を学部で受講できるように、その授業にあらかじめ配当されていた教室で遠隔同期型授業が受講できるようにした。その教室なら、他の学生は居ないので、発言も可能だった。しかしながら、こうした意見があったということは、この仕組みが教員に十分に周知できていなかったからだと反省している。今後、同様のケースが生じる場合には、遠隔同期で授業をする教員にきちんと周知したい。	第4Qは原則対面授業となったので、この仕組みは継続していない。
	13	遠隔授業と対面授業が連続したとき、ネックになるのが、授業中の発言の有無。遠隔同期型で発言を求められない授業は学内受講で問題なかった。遠隔同期型で授業中の発言を求められた時、学内では発声するのが難しく、受けづらかった。 第3Qにおいて、授業中に発言をしてほしいという理由で遠隔同期型を選ぶ先生が多かった。話し合い活動では、チャットを使うように言われた。チャットと対面での話し合いでは質が違う。遠隔授業において発言をするかしないかについて、考慮をしたかを知りたい【小サブ】	総務	h対面授業の前後の遠隔同期型授業を学部で受講できるように、その授業にあらかじめ配当されていた教室で遠隔同期型授業が受講できるようにした。その教室なら、他の学生は居ないので、発言も可能だった。しかしながら、こうした意見があったということは、この仕組みが教員に十分に周知できていなかったからだと反省している。今後、同様のケースが生じる場合には、遠隔同期で授業をする教員にきちんと周知したい。	第4Qは原則対面授業となったので、この仕組みは継続していない。
14	●遠隔非同期、遠隔同期、対面と様々な授業形態に対応しないとイケない中で、課題が多いと感じる。そのため、課題の量を減らしてほしい。【小サブ】	教務	単位の実質化(授業の準備=30時間、授業=30時間、授業の復習=30時間の合計90時間で2単位、簡単に言うと、毎週の授業の前後に90分ずつの予習と復習が必要)という観点から、必ずしも課題が多いとは言いきれない。そのような時間数を超えて深刻な状況がある場合は、相談してください。		

15	●ロイロノートを授業内でもっと活用してほしい。実習に行くと、ICT教育の進んでいる小中学生は既にロイロノートの使い方が分かっていて、逆に児童生徒から教えられることが多かった。児童生徒から学ぶことも大切だと思うが、実習には先生として行くので、ロイロノートのようなICT教育に触れる活動の機会をもっと設けて慣れさせてほしい。【中等】	教育コ	ロイロノートの話が出ているが、Google ClassroomやMoodleもICTの一つである。授業によっては、ロイロノートを多く利用している場合もある。今後、大学教員が授業で使用することも増えると思われる。Moodleも学習管理システムの一つであり、Moodleを使用していることはロイロノートを使用する際に活用できる。また、講義室には大型モニターが配置され、黒板と併用できるようになっている。こうした機器を模擬授業等で使用してもらいたい。	
16	●学習進行状況について確認したいが、学生へのフィードバックがある先生とない先生がいる。大変だとは思いますが、全先生に何らかのフィードバックをしてもらいたい。【小サブ】	学部長	フィードバックについて、こうした要望があったことを教員に周知していきたい。	
17	●ムードルでの提出期限と先生から提示された提出期限が違っていて困惑するので気を付けて欲しい。【小サブ】	教務	こういう問題があったことを共有し、情報が一致するよう、教員へ周知する。	
18	●授業が学部時代も受けていた同じような内容もあり、大学院ならではのより実践的な授業、例えば授業実践やいろいろな学校の先生方の授業をみて学ぶなどの専門性を高める内容があると良いと感じた。【院】	大学院	中身の見直しも実施する。教職大学院は科目数が多く、選択が可能。教員のリサーチマップをよく情報収集し、自分の興味関心にあった授業を受けるよう、4月のガイダンスの際に周知します。	
19	●卒論や、中間発表会の情報が早く回ってこないため資料をすぐに作成しなければならず大変なので、早めに教えて欲しい。【院】	大学院	次年度から、4月のガイダンスの際に、十分周知する。	
20	●実践的な演習のみで理論についての講義がされていない授業がある。大学院の授業としては少し物足りない。【院】	大学院 教務	教職大学院の特徴は科目数が多い。自分にあった興味関心にあった授業を履修してもらえるよう4月のガイダンスにて周知したい。	
21	教育に関する授業は初めて受ける学生も多い中、毎回の授業が生涯学習に関する資料を見て課題を提出するだけで、最終課題として生涯学習を促す教育を研究しA4用紙10枚以上のレポートを書くという授業があった。せめて生涯学習の知識を持った先生からのご指導・ご助言をいただきたい。また、各授業での質問に答えていただきたい。【院臨床】	院臨床	後日文章で回答します。	
22	●1,2年生のときに、附属小学校やその他の小学校の先生のお話を聞いたり関わったりする機会がもっと欲しいです。【小サブ】	学部長		小学校サブコース新入生セミナーでは、本年度初めての試みとして、附属小学校教頭や、小学校サブコース卒業生、在学生の講話を聞くことができた。
23	●指導案の書き方など、課題に対するフィードバックがあると嬉しい。【幼サブ】	学部長	フィードバックについて、こうした要望があったことを教員に周知していきたい。	
24	●教育学部等の使用時間が現在22時までであるが、23時までの利用にしてもらいたい。(コロナウイルスの感染状況が落ち着いたままの状況であるということが前提)【院】	学部長 大学院	学部と大学院も22時に設定している。凶悪犯罪の発生は22時以降に起こりやすいこともあり、この時間に設定している。根拠のある時間設定であることを理解していただきたい。	
25	●学生利用可能スペースについてのガイダンスをもう少し細かくやっていただきたい。利用方法がわからず、大学を利用しづらいという声を聞く。【小サブ】	総務	しっかりとガイダンスを実施していきたい。学部内の学習スペースについては分かるようにしていきたい。	第4Qの「学習スペース」、「昼食スペース」については、就学支援システムで通知し、2号館エントランスの掲示板に掲示した。

26	<p>●学生研究室の使用が認められている教科(学科)があるのに未だに使用できない教科もあるのはなぜか。早く使用させてほしい。</p> <p>教科(学科)によって研究室使えたり使えなかったりするのはいらないから、統一してほしい。【中等】</p> <p>●教育学部棟の工事が入る以前は、その専攻の各学生専用のロッカーを設けられていたそうであるが、工事が入って以後はロッカーを使うことができていない。部活やサークル活動がある際、その道具を授業の教室まで持ち込むのは大変なので、ロッカーがあったほうが助かるが、今後ロッカーを使うことは難しいのか。</p>	学部長	2号館については、統一したルールがまだできていない。来年度の4月から新たな形のルールづくりをしている。学生研究室の管理については、教科で管理するもの。教科領域によっては、偏りがあるかもしれないが、教育学部の学生はどこでも使えるような環境を整えるようにしている。ロッカーについては、一定の教科の学生が占有するような形は望ましくないと考える。これについても検討中である。	アクティブラーニングチームに関しては、来年度の4月より通常運用を目指している。	
27	<p>●感染者はだいぶ落ち着いているし、一般的に1人で使用する練習ボックス(編注:音楽の個人練習室)はそろそろ使用を認めてもらってもいいのではないかと。空きコマを有効活用するためにも、早く解放してほしい。【中等】</p>	学部長(市川)	教科の方で対応し、解決している。	すでに、練習室に関しては全音楽専攻学生に開放している。	
28	<p>●個人練習室(ピアノ室)は、音楽の講義を履修している学生しか利用できないと言われてきました。これを、部屋が空いているときは、教育学部の全学生が利用できるようにしてほしいです。(学生の施設利用の観点から)【中等】</p> <p>●ピアノ練習室を希望者が気軽に利用できるようにしてほしい。【幼サブ】</p>	(市川)	教科の方で対応済み。自由に使うことについては禁止する。	管理上の問題で不可、なお、音楽科目を履修すれば自動的に個人練習室での練習は可能となる。また、教員採用試験前は特別申請も可能である。	
29	<p>●実習室を自由に使わせてほしい。作業や製作等の授業がある際、どうしても授業時間内に終わることができないときがある。自宅だと十分な道具や設備、スペースを確保することが難しいので、実習室の開放を認めて頂けるととても助かる。【中等】</p>	学部長	基本的には、授業担当教員が管理する事案である。担当教員に相談の上、使っていただきたい。実技系の科目において、こうした困りごとが生じていることについては、全教員に周知していく。		
学習環境について	30	<p>●大学側からの重要なお知らせについて、連絡手段を一つに統一してほしいです。(moodle、修学支援システム、学内メールなど)</p> <p>特に3回生の教育実習に関することでは、いつの間にかmoodleに重要な情報や提出書類がアップされていることがあり、それに気付かない学生が多くいました。学生が逐一確認することが一番の基本ですが、重要事項についてはアナウンスをお願いしたいです。【中等】</p>	教務	連絡手段の統一については検討する。授業については、最低限Moodleで示すという方針がある。その方針について教員にも再度周知する。学担変更届や卒業研究題目届など、事項によっては、Moodleのコースがないため、修学支援システムからの周知せざるを得ないものも存在する。	実習については、モデルに一本化し、学生には随時確認するようにしておりますが、感染状況により直前に変更があったり、対応が後手に回ったりして、連絡を逐一周知出来ないこともありました。また周知はメールで行うため、メールを見落としたりすることで確認ができなかったりということも考えられます。この件は、委員会で共有し、対応を考えたいと思います。
31	<p>●moodleの転送設定の仕組みを教えてください。修学支援システムの情報は、学内メールや個人メールに転送されてきます。しかし、moodleではその設定をした覚えがないのに、「アナウンス」等が転送されてくると転送されない人に別れているようです。それによって、moodle上の重要な情報に気づかない学生がいます。moodleのアナウンス等の転送の仕組みについて知りたいです。【中等】</p>	教育コ	この件については、教育学部だけの問題ではないため、メディアセンターとも協力して調べようとする。		

	32	●メールの転送について、全員がきちんと理解する機会がほしいです。1回生のときに、「情報リテラシー入門」にて学内メールや転送設定について少しお話があったと記憶しているのですが、その際に正しくできていない人とできていない人に別れていました。その後4年間使うものなので、十分に時間をとって、全員が学内メールや転送設定の仕組みについて理解できる機会があればいいと思います。 【中等】	学部長 教務	この件については、教育学部だけの問題ではないため、メディアセンターとも協力して調べるようにする。	
	33	●教育支援課教育学チームに提出書類を持っていた際、受付の方がよくわかっていないような対応で、不安に感じた。【院】	学部長	このことについて、事務と共有し対応します。	
	34	●印刷機は院生控室に設置してあるが、コピー機も設置してほしい。【院】 ●特別支援教育コースの院生室にも、個々で使用できるパソコンを置いてもらえないか。院生室に学校のパソコンを数台設置し、個々で使用できるようにしてほしいということのようです。特支以外の2コースの院生室については、1人1台ずつ使えるようにパソコンが設置されています。【院】 ●院生控室のコピー機の不具合が多いので、修理等をしていただけるとありがたい。（担当の先生には何度か相談はさせてもらっています）【院】	大学院	プリンター機能、コピー機能がある複合機の購入については検討したい。特別支援教育コースの院生にも教育実践開発の控室を使用できるようにアイデアがある。今後検討していく。不具合のあるコピー機については、早急に修繕、または買い替えを検討する。	特別支援教育コースのパソコンと複合機は年末に発注済み。その他の複合機については、現在、機種を選択中であり、年度内に配置予定である。
進路・就職について	35	なし			
実習について	36	●研究内容と連携実習校のマッチを出るだけお願いしたい。【院】	大学院 実習	マッチングについては、最善のサポートをする。学年配当を含めて来年度以降、対応する。	
	37	●リーダーシップ開発コース以外の現職教員の実習校が勤務校以外の学校になっている。研究内容によって、選択できるとありがたい。【院】	大学院 実習	研究課題の書き方のアナウンスについて、4月のガイダンスで徹底して行う。	
	38	●実習校へのガイダンスの必要性を感じる。理解と協力を求める時間が確保されていないまま実習を行い、協力体制が取れないままの研究推進は苦勞が多い。【院】	大学院 実習	実習チームにて、訪問指導体制を確認する（年度はじめに、実務家教育を中心とした実習指導体制を速やかに構築する）。	12月の専攻運営会議の議題に取り上げ検討した。
	39	●感染症の影響により、実施予定だった実習が次々と中止になってしまった。教師は、現場に出て学ぶ機会が特に多い職業であると考えられるので、実習はやはり重要であると考えている。中止になってしまった実習の埋め合わせのような機会を設けて頂けるとありがたい。【中等】	実習	必修の実習であるか否かにもよるが、必修に関しては代替措置を準備している。ふるさと実習（教職体験実習）については、実習校、自治体の判断などのコーディネートが必要な実習であり、埋め合わせはできない。 一方、地域連携実習については、感染状況が落ち着いているので実施している。興味がある方はガイダンスを受けてください。1・2回生で中止になって残念だが、3・4回生での実習があるのでそちらを頑張してほしい。	
	40	●小学校の年間を通しての様子が見られるように、実習を組んでほしいです。【小サブ】	実習	インターン実習（3年生後期）があるので、こうした実習を活用してください。	

	41 ●対面での実習が一度も出来ておらず、将来が不安。【小サブ】	実習	実習委員会においても問題として共有している。来年度は、感染状況にもよるが、実習は実施する方法で進めていきたいと考えている。不安を払拭できるくらい、しっかり勉強をして少ない実習の時間を有意義に使っていただきたい。	
	42 ●食堂やアクアカフェが通常通り使用できるのはいつになりますか。【小サブ】 ●対面授業が多くなってきたことに伴い、学食の営業時間を徐々に以前の形態に戻してほしいです。 →土曜日の営業、営業時間を朝8時から20時頃までの営業へ【中等】 ●ミュージカフェを開けて欲しいです。【院】 アクアカフェやミュージアムカフェは、まだ営業再開されないのでしょうか？【中等】	学部長	大学生協に伝えてください。	
	43 ●食堂のトレーチェクは非常に便利だと思うので、昼だけでなく夕方でも使用できるようにしてほしい。	学部長	大学生協に伝えてください。	
	44 ●城北キャンパスの食堂前のベンチを使えるようになるのはいつになりますか。（授業間に休憩できる場所が欲しい。）【小サブ】 ●外で食事をとることができる所を設けてほしい。及び、雨の時に食事をとることができる場所を設けて欲しい。【中等】 ●食事可能スペースなどの周知が進んでおらず、対面授業の増加と共に学食が密になることが考えられる。今一度の周知の呼びかけをお願いしたい。【小サブ】	学部長 総務	12/9より103教室で昼食の利用ができるようになる。ただし黙食を徹底のこと。状況によって今後変更の可能性はある。	食堂前のベンチはすでに使用可能。同様に、えみか前の広場、工学部付近のテーブル、ベンチは使用可能、雨天時は昼食時間に関しては103教室使用可能。
	45 持田キャンパスには食堂が無いので、給食費を納めることを条件に附属校園の給食を分けていただけないだろうか。【院臨床】	学部長 院臨床	対応は難しい。弁当を購入するなどの対応をとってほしい。	
	46 ●他学部の自転車置き場（例 工学部など）には屋根が付いている。教育学部前の自転車置き場にも検討していただけないか【小サブ】 ●自転車が雨で濡れないゾーン（屋根の付いている自転車置き場）をもっと設けてほしい。【中等】 ●雨が降ったときに困るため、屋根の付いた駐輪場を増やしてほしい。教育学部棟の横に屋根の付いた駐輪場があるが、放置された自転車があるなど、正直に言って汚いため使いたくないと思えない。【小サブ】	学部長	自転車置き場については、イベントで使用する用途もあるため、すべての部分に付けるのは不可能。2号館裏への設置については、今後全学に依頼するが確約はできない。	
	47 ●入口のポールが狭い 自転車どうして詰まることがあるため取り除くか、間隔を広くするかしてほしい【小サブ】 ●工学部側の入口や体育館側の入口はポールが狭い間隔で設置されているので、自転車で通る際に狭く感じる。ペダルがポールに当たってしまうこともあり、危険なのでもっと通用口を広くして頂きたい。【中等】	学部長	全学に相談するが、バイクの侵入を防ぐため対応が困難と思われる。	
その 中	48 ●授業形態の変更や部活動の停止、開始の判断が遅いと感じる。予定が立たない、或いは予定をキャンセルしなければならないことがあるため、もっと早めに明確に伝えてほしい。（遅くとも2週間前くらいが望ましい）【小サブ】 ●直前になっての授業形態の変更や部活動の停止、開始を告げられるため困惑する。もっと早めに予定を伝えてほしい。【小サブ】	学部長	できるだけ早く伝える努力はしているが難しい面もあることを理解してほしい。教育学部チームにも連絡する。	

49	●狭いのに換気の窓が少ないため、第3体育館の2階が暑い。【小サブ】	学部長	持ち帰り事項	
50	携帯電話を持っていないときの連絡手段がないとめ、公衆電話を設置してほしい【小サブ】	学部長	持ち帰り事項	
51	友達がつくりにくいとめ、交流の機会を設けて欲しい。【小サブ】 他の学生と交流できる場を増やして欲しい。【幼サブ】	学部長	このことについては、検討していきたい。形式については未定。	
52	●教育学部にゴミ箱を設置してもらいたいです。(大学で買った物などのゴミを捨てるための。)【小サブ】	学部長	教育学部ではこれまで通り設置しない。学生による廃棄状況を鑑みる不可能となった歴史的経緯がある。	
53	性的マイノリティへの支援や制度などについてまとめてほしい。【院】	学部長 教育コ	全学で対応するべき内容なので、そちらに伝える。	【愛媛大学副学長よりの回答】 性的マイノリティの方への支援・配慮に、ご関心をお寄せいただき、ありがとうございます。本学では、次のような取組を行っています。 ・通名利用の許可 ・性に応じたトイレの利用の許可 ・どなたでも利用できるトイレを増やし、標記を工夫 ・LGBTQ+ 学生に対する面談及び仲間作りのサポート ・LGBTQ+ 学生の相談受付（学生何でも相談窓口、総合健康センター、女性未来育成センター・ひめルーム相談室等） ・入試出願における通名利用の許可 ・性別に「その他」の欄を設ける（主にアクセシビリティ支援室内の書類） 今後も、支援・配慮に努めて参ります。 愛媛大学副学長（ダイバーシティ担当）
54	学内メールの活用が難しい。 ・メールが多すぎる ・メールを見る習慣がない。【中等】	教育コ モニター 会議担当者	学生の時からメールをきちんと処理する能力・技術を身につけて対応してほしい	様々な連絡手段から必要なものを取捨選択し重要なものを確認するスキルはどのような職業においても、あるいは社会生活においても必要。
55	このコロナ禍でサークル、部活動などの課外活動を行うにあたって、学生生活支援課に提出する書類等が多すぎて学業に支障が出た。【中等】	教育コ	安全のため手探りの部分もあることを理解してもらいたい。ただしそのような意見があったことを報告しておく。	比較的平常に近づいており、学園祭を始め、様々なイベントも実施されている。